

**今日のトピック**

**豪中銀、政策金利を据え置き、豪ドルは底堅い展開へ**

**ポイント1 過去最低の1.75%を維持  
インフレ見通しも維持**

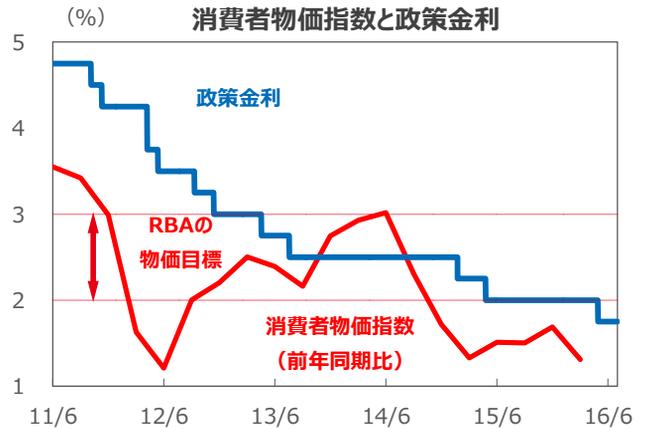
- 豪州準備銀行（RBA）は7月5日に開催した金融政策決定会合で、政策金利を1.75%に据え置くことを決定しました。ブルームバーグ社の集計によると、27名のエコノミスト全員が据え置きを予想していました。
- RBAは、注視する消費者物価の最新データの公表が7月下旬に予定されていることなどを考慮したと考えられます。

**ポイント2 当面、据え置きの見通し  
声明文は前回から大きな変化なし**

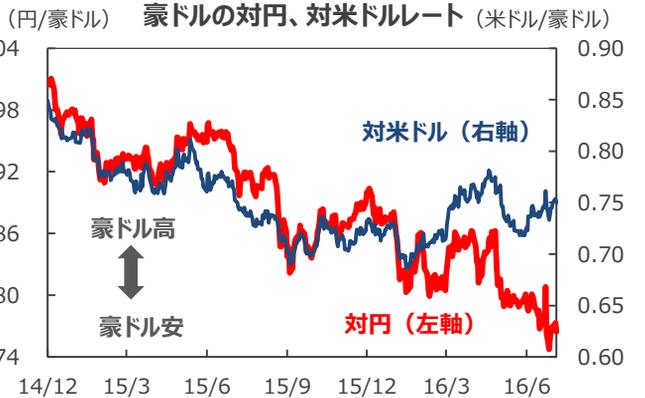
- 先行きの金融政策スタンスについては、前回、前々回に続き今回も特に言及はありませんでした。
- 豪州経済は、雇用の改善による個人消費の増加を支えに緩やかな拡大基調を維持する見込みです。一方、景気の拡大、賃金の下げ止まりなどから、インフレ率の低下には歯止めがかかると予想されます。
- 英国の欧州連合（EU）離脱が世界経済、金融市場に及ぼす影響については、限定的との見方を示しました。以上を総合すると、政策金利はしばらく据え置かれると考えられます。

**今後の展開 豪ドルの対円相場は底堅い展開へ**

- 据え置きは市場に織り込まれていたため、会合直後の豪ドルは対米ドル、対円とも小動きとなっています。
- やや長い期間で見ると、米国の利上げ先送りで豪ドルの対米ドル相場は、上昇傾向にあります。一方、



(注) 消費者物価指数は2011年4-6月期～2016年1-3月期。(年/月)  
RBAの物価目標は前年比2%～3%。  
政策金利は2011年6月30日～2016年7月5日。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成



(注) データ期間は2014年12月1日～2016年7月5日。(年/月)  
2016年7月5日は日本時間16時時点のレート。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**ここもチェック!** 2016年7月 4日 豪州の総選挙 (2016年7月)  
2016年6月 17日 最近の指標から見る豪州経済 (2016年6月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。